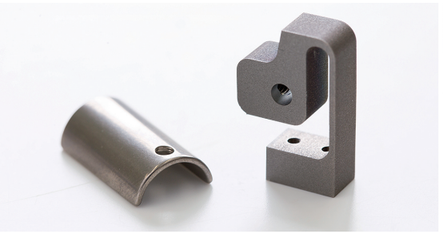
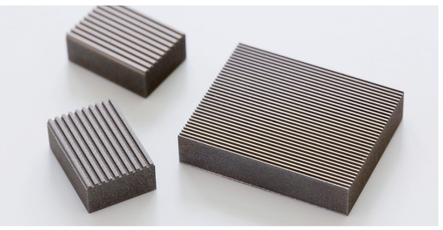
株式会社 西村金属

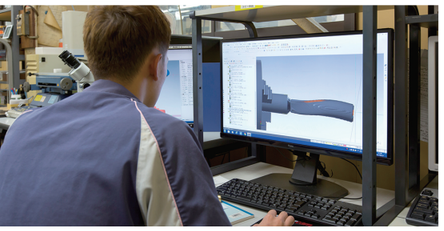
▶対 象 類 型　ものづくり技術
▶事 業 類 型　一般型　設備投資
▶主たる目的　生産性向上

医療機器部品の小口化・短納期に対応する ワンストップ型一貫生産体制の構築











2
3
4
5
1

1／新たに導入した最新鋭のリニアモーター駆動高速高性能ワイヤー放電加工機。取り付け面の変更など、従来は手作業で行っていた工程が自動化でき、より高精度な複合加工が実現できた。図面をもとにプログラミングをして加工を行う。 2・3・4／今回導入したワイヤー加工機と、西村金属の加工技術を融合させて完成した精密部品。最新のワイヤー加工機ならではの回転軸を使った技術で、反りや薄さ、細長い溝など、複雑な形状のワイヤー加工ができる。 5／顧客から届いた製品データも、機械加工へと進める前に綿密にプログラミングする。

一貫生産体制を強みに、医療機器分野への参入拡大を目指す。

西村金属は、チタン加工を得意とする精密部品の加工専門工場。同社の加工製品は、眼鏡フレームから電極、航空機部品などに使用され高い評価と信用を得ており、顧客は300社を超えている。

近年は医療分野でも躍進を続け、手術機器、医療機器部品などで売上が顕著に拡大している。一方で、製品の多様化、小口化が進むと同時に、高精度の加工や短納期が求められるようになり、これまでの生産体制では顧客ニーズに十分に応えられなくなっていた。

そこで本事業を活用して、1回のチャッキング（工作物の固定）で多面加工ができる最新鋭のリニアモーター駆動高速高性能ワイヤー放電加工機を導入した。これにより工程の短縮と精度の高い加工が可能となり、小口化・短納期にも迅速に対応できるようになった。また従来の切削加工・プレス加工・圧造加工に加えて複合加工が可能となり、ワンストップ型の一貫生産体制を構築できた。

医療機器分野の市場は、高齢者人口の増加などを背景に拡大しており、治療用または手術用機器等のパーツ類については、技術力の高い中小企業の生産ウエイトが高くなっている。本事業で他社との差別化ができたことで、今後は医療分野へのさらなる参入と売上の拡大を目指していく。

注目すべき成果

小口化・短納期に対応できる、複合加工が可能に。

ワイヤー加工機の導入後は、1回のチャッキングで多面加工が可能となり、従来必要であった取り付け面の変更など工程数が削減。高精度を維持しながら時間短縮とコストダウンも実現できた。

注目すべき成果

一貫生産体制の実現で、他社との差別化。

同社が得意とするチタンの精密微細切削加工技術に、ワイヤー放電加工技術が加わったことで、他社では一貫対応が困難な精密複合加工が可能に。複雑で複合的な加工が必要とされる製品などの新規受注にもつながった。

今後の展望

他社にはない精密複合加工で、多方面に展開。

現在同社の売上の20%を占める医療機器部品でさらなる参入拡大を目指す。また、製品の小口化、多様化が進むのは医療機器分野に限られたことではない。今後需要が見込める航空機産業などへの新規受注も狙っていく。

ものづくり専門員から一言

効率と精度が大幅にアップ 今後の飛躍に期待。

従来の強みであるチタンの精密微細切削加工技術に、今回導入したワイヤー放電加工技術が加わったことで、他社にはない精密複合加工技術を手に入れた同社。小口対応や短納期への迅速な対応を武器に、今後さらに売上が伸びていくと期待できる。

こんな会社です！

お客さまとの信頼関係を大切に選ばれる企業へ。

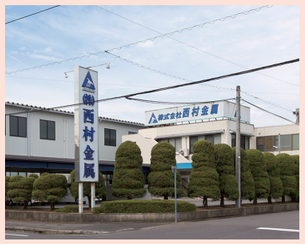
当社は創業以来、お客様から信頼される、技術の追求を続けてきました。今回の事業では、他社にはないワンストップ型の一貫生産体制を構築。通常であれば、複数の工場を通して加工する部品でも、当社は受注から納品までを行い、小口化、多品種の部品加工への対応が可能となりました。この特化した技術力と一貫生産はもちろん、アイデア出しから図面の作成までを含めて提供するなど、お客さまとのパートナーシップを大切にしています。今後も「お客さまから選ばれる製造業」であり続けたいと考えます。



代表取締役
西村 憲治さん



機械台数は専用機も合わせると約200台。社内で連携をとりながら、一人一人が責任をもって作業に取り組む。



本社・工場

株式会社 西村金属

代表者／代表取締役　西村 憲治
設立／昭和43年（1968年）4月
資本金／1,500万円
従業員数／28名
事業内容／眼鏡部品製造販売、精密部品加工
〒916 - 0019 鯖江市丸山町3-5-18
☎0778-51-2348　FAX.0778-52-9646
E-mail nk-net@nsmr.jp